



博物館とIT

弊社事業の紹介

平成25年12月4日

於：ニッポンクラウドワーキンググループ

早稲田システム開発株式会社

博物館専門

博物館の仕事だけを
20年やってきた会社

博物館には
詳しい

圧倒的トップシェア
導入実績300館以上

当社にあるもの

博物館以外には
疎い

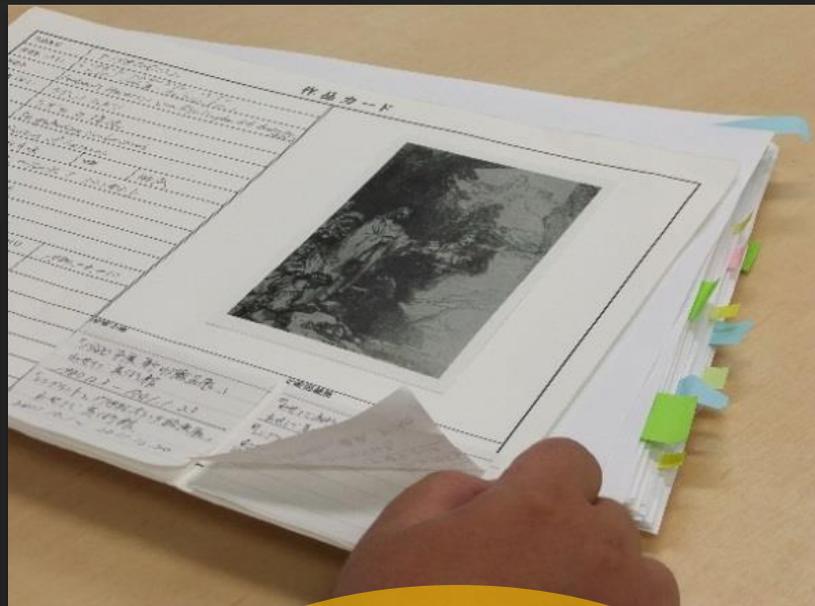
他のシステムの経験不足
他業界のノウハウ不足

皆様にあるもの

メンバー企業のノウハウを当社の顧客基盤に

ITが縁遠い 業界

昭和じゃなく、
「今」の状況。



こんなにある「モノ」を
アナログで管理？



ホントか？

社会教育調査

By 文部科学省
我が国の博物館約5,800館のうち
調査対象数5,553館が対象
平成23年

デジタルアーカイブはありますか？
▶あります。

431館 /5,553館中

全体の
8%

デジタルアーカイブ 白書

By デジタルアーカイブ推進協議会
平成13年

デジタルアーカイブの障害は？

- 第1位 予算不足
- 第2位 人員不足

見事に
同じ答え

文化・学術機関における デジタルアーカイブ

By 国立国会図書館
平成23年

約
10
年

デジタルアーカイブの障害は？

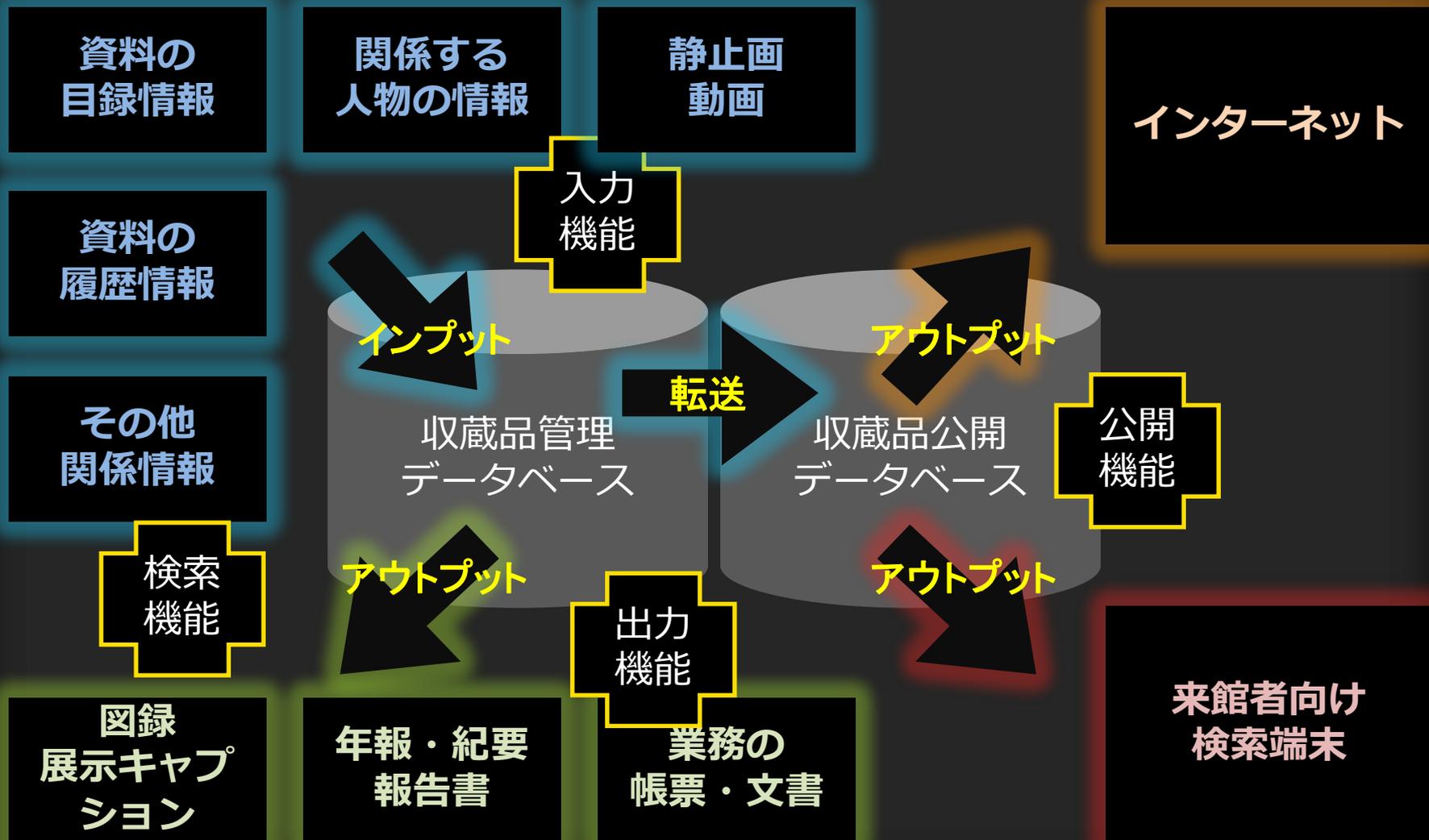
- 第1位 予算不足
- 第2位 人員不足

アナログ...
非効率...
IT化されないまま
10年間放置された
...という統計

10年たっても変わらない。
IT環境は、ずっと「昭和」で放置された業界

当社の基幹製品 収蔵品管理パッケージ

I.B.MUSEUM



扱う「モノ」が違う

情報発信方法が違う
インターネット

カスタマイズ

パッケージ

カスタマイズ

カスタマイズ

業務フローが違う



売上構造

パッケージ

カスタマイズ

当社の
主たる
売上



予算が付かない 人員が減らされる

理由を聞くと...

- 「住民の生命に関係しないから」
- 「採算が取れてないから（公共サービスなのに
入場料を取っているから採算を問われる）」
- 「ハコものは無駄の象徴と見られている」

こういう環境で

昔は、新しく開館する
ときなどに大型システムが
受注できたが...



パッケージ

カスタマイズ

売上構造

当社の
主たる
売上

こういうIT投資を できるミュージアムは 非常に少なく...

売上の減少傾向

クラウドに活路を

考古

歴史

民俗

自然

美術

いろんな分野のひな型を用意
それを自分仕様にアレンジ

扱う「モノ」が違う

情報発信方法が
違う

カスタマイズ

パッケージ

カスタマイズ



カスタマイズ

業務フローが違う

多様な業務に対応できる
現場を熟知した豊富な機能

収集

保存

研究

展示

教育

クラウドで実現

これをやるには、
経験と業務知識が必要

こういう状態なので、
他社はノウハウが不十分。
実際にやれるのは
当社だけ。

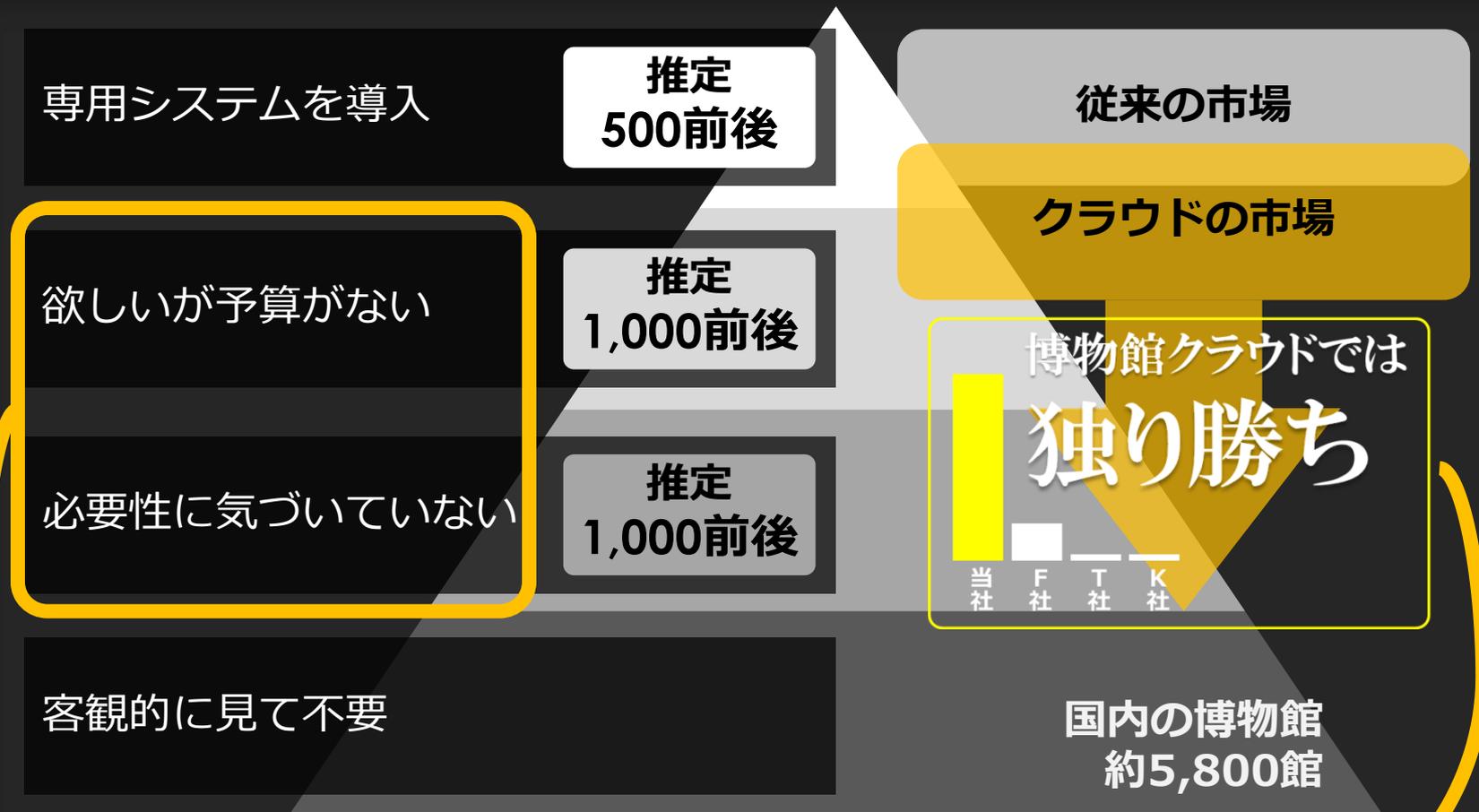
当社

F社

T社

K社

博物館クラウドでは
独り勝ち



一見、ブルーオーシャンのようだが、

障壁は難攻不落。

3年で80ユーザ
まだ「ブレイク」前

欲しいが予算がない

これまで数百万～数千万
したものが、月3万円！

月3万円も出せない
新規予算は一律ストップ

博物館は、使う人とカネを出す人が違う。
業務システムはカネを出す人に受けない。

必要性に気づいていない

ITを活用しないと
取り残されるよ！

今までアナログで
やってこれたもん...

業務システムによる効果は目に見えない。
利用者増など「数」で実感できない。

扱う「モノ」が違う

カスタマイズ

カスタマイズ

業務フローが違う

情報発信方法が
違う

パッケージ

カスタマイズ



人目を引き、
効果もある、
新しい情報発信

業務システム
では
訴求力が弱い

TATE Kids (テート・ギャラリー)



たくさんの子ども向けゲーム

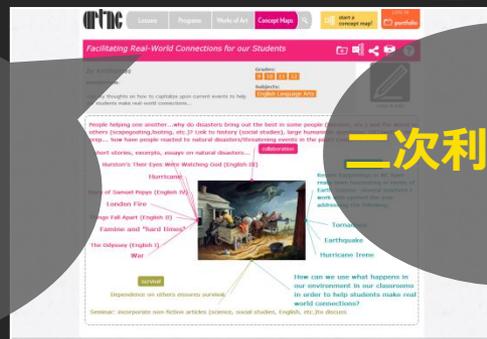
作品画像に、自由に「解説吹き出し」を付けることができる

解説つき画像をアップロード共有することで「美術教材集」となっている

ノースカロライナ美術館



高精細画像をダウンロードできる

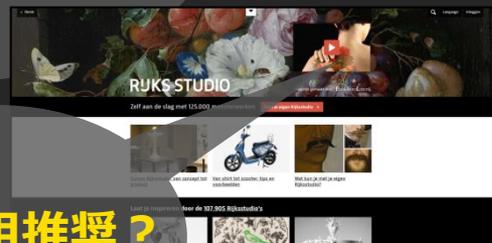


二次利用推奨?



バイクやスマホに

アムステルダム国立美術館



博物館クラウド<I.B.MUSEUM SaaS>の範囲

システムで仕事をして、
業務で使うデジタル
データが自然に蓄積

コレクション・データベースを
インターネットで公開

公開可能な
情報を転送

公開可能な
情報を転送

その他
関係情報

検索
機能

図録
展示キャ
プション

収藏品管理
データベース

収藏品公開
データベース

アウトプット

アウトプット

年報・紀要
報告書

API

業務の
帳票・文書

このデータを使って
博物館に注目を集めるような

おもしろいことを
考えませんか？

博物館には
詳しい

圧倒的トップシェア
導入実績300館以上

当社にあるもの

博物館以外には
疎い

他のシステムの経験不足
他業界のノウハウ不足

皆様にあるもの

メンバー企業のノウハウを当社の顧客基盤に

ここに力を貸してください…というのが

本日の話

日本の力。日本人の力。

製造業の技術。
町工場の技術力。
宮大工の職人技。

これらを支えるのは
国民が広く共有する

文化。

震災時の節度ある行動。
フェアプレイ。
おもてなし。

文化が崩れていくとき、
国も崩れるのではないか・・・

経済が文化を
支えるのではなく、
文化が経済・繁栄の礎。

博物館は、
文化を守り、残し、伝える
ことを目的とする社会装置。

本日お話しした博物館クラウドは、
文化を守ることに、日本人の力を守ることに、
きっと繋がっている。

これに、みなさんの
力を貸してください。

ご清聴、ありがとうございました。